

坂東市新行政改革プラン 2022-2025【概要版】

1. 新行政改革プラン策定の意義（趣旨）

近年、社会情勢は大きく変化し、超高齢社会の進行や少子高齢化による人口減少問題、市民ニーズの多様化、新型コロナウイルス感染症の流行・蔓延、進展するデジタル社会など本市を取り巻く課題は年々高度化、複雑化しています。

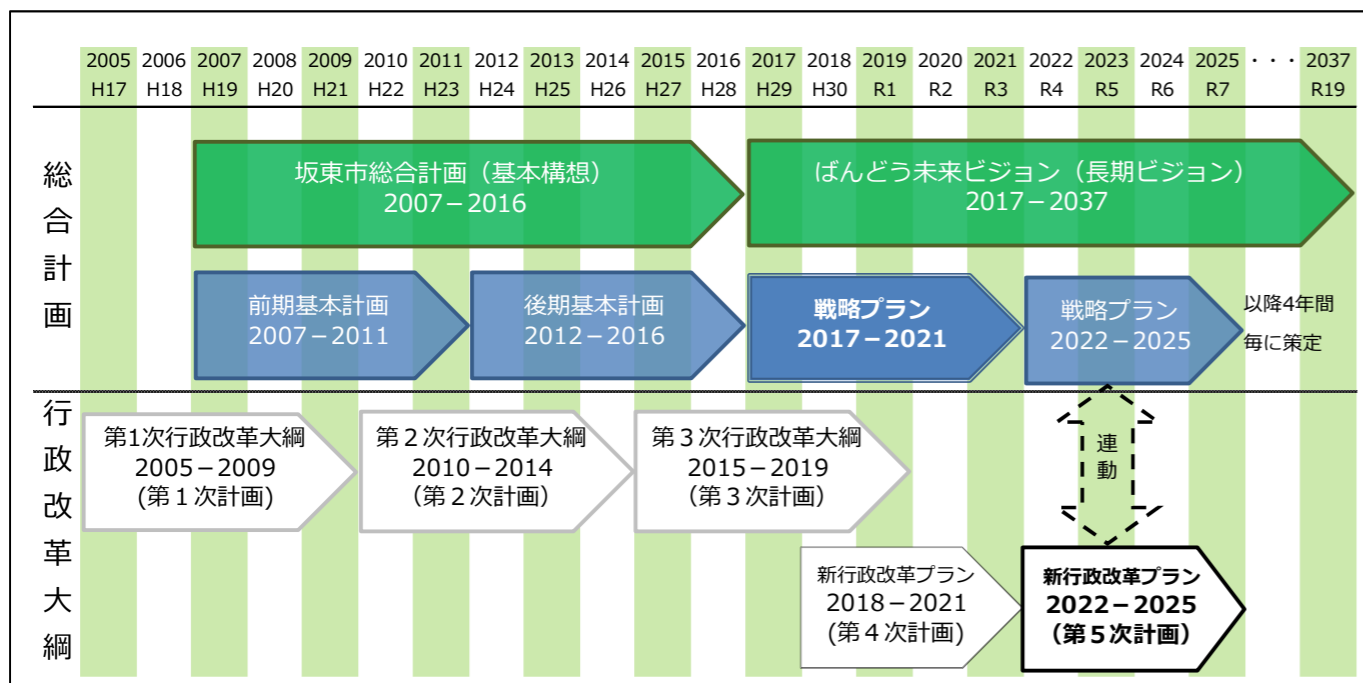
特に、少子高齢化による人口構造の変化はより顕著となり、地域の担い手不足や経済規模の縮小、社会保障費の増加など、地域社会に与える影響も深刻なものとなっています。

今後、これらの複合的な課題に柔軟に対応し、市民の満足度を高める質の高い行政サービスの提供に努めるとともに、「選択と集中」により未来に負担を残さない、持続可能な行政経営の確立に向けて市民と行政が一丸となり、行政改革をさらに推進する必要があります。

2. ばんどう未来ビジョンとの関係性

本市ではまちづくりの展望を示した坂東市総合計画「ばんどう未来ビジョン」（長期ビジョン：2017-2037、第2期戦略プラン：2022-2025）を策定し、この計画に基づき各種施策を展開しています。

「新行政改革プラン 2022-2025」では、ばんどう未来ビジョンの戦略プランと計画期間を同じく4年間として、内容や施策において整合を図るとともに、より一体的な運用を目指して未来に向けた取り組みを進めてまいります。



3. 本市を取り巻く現状と課題

(1) 人口減少・少子高齢化の進行

坂東市の常住人口(2021年10月現在)：51,764人（高齢化率30.7%）
人口減少・少子高齢化に向けた対応を着実に進め、人口構造の変化に適応した行政経営が必要

(2) 持続可能な財政運営の確立

既存事業の徹底した無駄の削減を行う一方で、戦略的重点事業や緊急性の高い事業に対して財源を投入するなど、「選択と集中」による持続可能な財政運営の確立が必要

(3) 公有財産の計画的な適正管理とマネジメントの強化

予想される人口減少や財政規模の縮小等に向け、計画的な公有財産の適正管理や公有財産マネジメントの強化が必要

(4) 独自性（地方創生）・普遍性（SDGs）を踏まえた行政経営

地方創生による独自性のある行政運営の実施、「SDGs（持続可能な開発目標）」の趣旨を踏まえた「誰一人取り残さない」社会の実現

(5) 「新たな課題」への対応

新型コロナウイルス感染症の流行・蔓延に伴う「Withコロナ」及び「アフターコロナ」の社会に対応した柔軟な行政経営やデジタル社会への進展に向けた「行政DX」の推進が必要

4. 改革の目標及び改革の視点

○改革の目標

「みんなで取り組む 将来にわたり持続可能な行政経営」

○改革の視点

- ・ムダやロスのない「量」の視点
- ・満足度や成果を高める「質」の視点
- ・みんなが関わり効果や負担を分かち合う「当事者」の視点

5. 改革の柱

(1) 「みんなでつくる」市政改革

市民や企業、団体、行政などあらゆる主体が参加し、課題を共有するとともに、役割を分担しながら能力を発揮してまちづくりを進める協働型の市政への取組を進めます。

〈重点項目〉

- すべての市民が活躍し、ともに進める市政
- 市民に信頼され、開かれた市政
- 外部の力を取り込み、連携する市政

〈関連取組〉

- ◆市民活動の活性化
- ◆各種メディアへの効果的かつ戦略的な情報発信
- ◆効果的な官民連携手法等の推進 など

(2) 「後世に負担を残さない」財務改革

人口減少時代に対応できる財政基盤を確立するため、歳入の確保や歳出抑制、将来負担の抑制に資する取組を行い、財政収支の健全性を高めるとともに、歳入に見合った歳出構造を構築します。

〈重点項目〉

- 公平性と創意工夫で取り組む歳入改革
- コストを意識し、選択と集中による歳出改革
- 経営的視点で取り組む財産改革
- 総合的な財政構造改革

〈関連取組〉

- ◆公共施設等総合管理計画、各個別計画に基づく長寿命化
- ◆多様な財源の確保
- ◆市税納付に関するコスト削減の取組 など

(3) 「おもてなし」を体現するサービスの改革

顧客である市民の視点に立った行政サービスを、効率的・効果的に提供できるよう、創意工夫のもと、継続的な改善を図るとともに、内容と質を向上させ、一人ひとりに寄り添う、心のこもったサービスを提供します。

〈重点項目〉

- 便利で満足度の高い窓口サービス
- ICT等を活用したサービスの向上
- 細やかで丁寧な市民サービスの提供

〈関連取組〉

- ◆各種申請・手続きに関する利便性の向上
- ◆利用しやすい窓口環境の整備
- ◆保健事業と介護予防事業の一体的な実施 など

(4) 「力強い市役所」をつくる組織と人材の改革

限られた行政資源を効率的・効果的に活用し、様々な市民（行政）の課題に対して、的確に対応する体制を確立するため、市役所の業務全般について見直しを行い、業務の最適化と人材・組織の活性化に資する取組を行います。

〈重点項目〉

- 効率的に質の高い仕事をするための業務改善
- 意欲高く活躍する職員力の向上
- 時代の変化や危機に対応する組織力の強化

〈関連取組〉

- ◆スマート自治体に向けたICT・AIの活用検討
- ◆職員の知識・技術向上のための取組
- ◆業務継続計画（BCP）の策定 など

坂東市新行政改革プラン

2022-2025

【概要版】

令和4年11月

